

図書館 YAコーナーにおいでよ★

本

11-12月「整える」特集

1月「ジャケ読み」特集

あつめてます

ネタ

11-12月「あったらいいな♪ こんな文房具」

1月「今年の意気込み！」

ください

★YAコーナーにある用紙に書いてね



Instagram



Twitter



Facebook

図書館公式 SNS フォローしてね！

長崎学クイズ！

わたしたちが住む長崎のこと、あなたはどれだけ知っていますか？
今回は「料理編」です♪

Q1

正月料理に欠かせない長崎雑煮は、○○や丸餅、野菜や蒲鉾と具たくさん。○○に入る言葉は何？

A → 牛肉 B → 豚肉 C → 鶏肉

Q2

“大人のお子様ランチ”と呼ばれる、ピラフとスパゲティーとカツレツを組み合わせた、長崎発祥のワンプレート料理は何？

A → トルコライス B → タコライス C → シシリアンライス

参考：わかる!和華蘭 『新長崎市史』普及版 長崎市史編さん委員会/監修 長崎新聞社/編集・制作 長崎市

発行：長崎市長立図書館 (Tel)095-829-4946

〒850-0244 (2) 101



10代のためのとしょかんだより

WAKABA

Vol.97
DECEMBER & JANUARY 2023
Nagasaki City Library



★今月のおすすめ★



ためしてわかる
身のまわりのテクノロジー
AI時代を生きぬく問題解決のチカラが育つ
ニック・アーノルド/著 ガリレオ工房/監修
江原 健/訳 誠文堂新光社 504ア(児童)

生活を支える便利な「テクノロジー」の歴史を知れば、もともになった科学の知識やからくりが分かるかも。塩と小麦粉でつくる焼き物体験や、牛乳と酢でゴムみたいなプラスチックをつくる方法など、身近なものでできる実験と、ひらめきから生まれた道具や技術を紹介。

小さな困りごとを解決したり、空想上の道具を再現したりすることができる、ものづくり。機械を買わなくても、必要な道具が揃った場所を借りてつくることが出来ます。自動車メーカーで働き、趣味でものづくりをする長崎県生まれの小林さんが、これまでつくった作品を紹介します。



**ものづくりっておもしろい!
おもちゃから
乗り物まで**

小林 竜太 / 著 偕成社
549 頁 (児童)

中学受験を目指す小春には、同じ塾に通う親友がいる。学校でどんなに辛いことがあっても、塾に英がいたから頑張れた。でも、通う学校も志望校も違う英とのこと、卒塾したら忘れるかもしれない。思い出が欲しい小春は、英を誘って卒塾制作でかるたをつくらうと決める。



**ノレノレかるた
二人でつくる卒塾制作**

こまつ あやこ / 著 毎日新聞出版
913 頁 (児童)

「最高の自撮りができるマシン」「プリンを守るマシン」など、数々の無駄なものを生み出した発明家の、知識と技術が詰まった無駄じゃない本が登場。工作のアイデアと方法をわかりやすく解説。君も世界に一つだけの無駄なものをつくってみたい!?



**無駄なマシンを
發明しよう!
独創性を育むはじめての
エンジニアリング**

藤原 麻里菜 / 著 登尾 徳誠 / 監修
技術評論社 540 頁 (児童)



中学生になったばかりの空良は、どの部活にも入る決心がつかない。そんなとき、下駄箱に「しゃべりは苦手でもペンをもったら 本音をぶちまけられる者よ! 文芸部に入るべし」と書いたチラシが入っていた。それを見た空良は、文芸部の部室をのぞきにいってしまう。

わたしの空と五・七・五

森埜 こみち / 作 山田 和明 / 絵
講談社 Y913.6 モリ



中学1年生のホタカは、父親の策略にはまって一人で城巡りを始める。初めは気乗りがしなかったが、お城に詳しい人達に案内され、どんどんお城の魅力にハマっていく。近世城郭のはじまりと言われる安土城、世界遺産の姫路城など……。ホタカと一緒にお城のはじまりを探しに行こう!

**なんで信長は
お城を建てたの?
「お城」のはじまりを探す旅**

畑中 英二 / 著 にしざか ひろみ / 画
新泉社 Y521.8 ハ



コロナ禍で中総体も美術展覧会の審査も中止になってしまった。部活に身の入らないバレエ部の鈴音とは対照的に、美術部の千暁は絵を描き続けるが、その絵は鈴音の不注意により墨で汚れてしまう。これまで黒色を使わない絵を描いていた千暁は、自分の絵を見つめ直すようになる。

スクラッチ

歌代 朔 / 作 あかね書房
Y913.6 ウタ

